

三条商工会議所景況調査概況

【令和 8 年 1 月～3 月期】

日本商工会議所が全国の商工会議所ネットワークを活用して、各地域での「肌で感じる景況感」（早期景気観測調査＜LOBO 調査＞）を毎月集計した令和 8 年 3 月の結果と、三条商工会議所で 3 ヶ月毎に会員事業所にアンケート調査を行った最近の業況をまとめた資料です。

- 調査対象：＜全国＞全国 323 商工会議所が 2,417 企業にヒアリング。回答数 1,937 件
＜三条地域＞会議所会員事業所 400 社を対象にアンケート調査。回答数 222 件
- DI 値＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）
従業員 DI は（不足とする回答割合）－（過剰とする回答割合）

【全国の業況】

3 月の全産業合計の業況 DI は、▲20.0（前月比▲3.2 ポイント）

建設業では、長引くコスト高に中東情勢の緊迫化に伴う原油価格・資材価格の上昇が重なり、悪化した。製造業でも、住宅関連工事の減少を受けた木材製品製造業の引き合い減少に加え、原油価格・資材価格の上昇が足かせとなり、悪化した。また、燃料価格上昇に伴い消費者の節約志向も高まっており、卸売業やサービス業で飲食料品関係の引き合いが減少し、悪化した。

高水準での賃上げや政府の物価高対策等が下支えとなり、消費マインドは回復傾向にあったものの、足もとの国際情勢の不安定化により、業況は再び悪化に転じた。

先行き見通し DI は、▲21.5（今月比▲1.5 ポイント）

設備投資や観光需要は引き続き堅調に推移しているほか、高水準での賃上げが続く中、今後の新生活シーズンや大型連休における需要増加が期待される。

一方、国際情勢を不安視する声が続く多く聞かれており、足もとの原油高・円安の長期化による採算悪化や、消費マインド悪化への懸念から、先行きは慎重な見方となっている。

全国の 3 月産業別業況

【建設業】

「中東情勢の緊迫化を背景とした原油価格の上昇により、今後塗料などの資材価格が上昇することが懸念される。また、慢性的な人手不足に対応するため、外国人材の活用を拡大する方針にあるが、在留資格審査の厳格化や不法就労対策など、受け入れ・管理体制を整備する必要がある」（一般工事業）、「原油の値上がりに伴い、資材価格や物流費が上昇しており、経営の大きなマイナス要素となっている」（建築工事業）

【製造業】

「物価高騰により住宅業界は過去最低水準の着工数である。それに加え、最近の原油価格の上昇により一層の資材価格の高騰が懸念され、景気が良くなることが想像できない」（木材製品製造業）、「足もとの燃料費高騰により消費者の節約志向が高まっており、贅沢品である自社製品は売上が減少している」（パン・菓子製造業）

【卸売業】

「消費者の節約志向の高まりの影響か、想定した売上を下回った。生産性向上による利益確保を急ぎ、4 月から受発注システムに AI を取り入れる予定であるが、未知の領域へのチャレンジとなる中、導入に際して予算の 2 倍近くの資金を投入することになった」（飲食料品卸売業）、「住宅の着工戸数の減少により、販売先からの受注が減少している。住宅関連業以外の新規取引先の開拓を進める必要がある」（建築金属材料卸売業）

【小売業】

「足もとの株価下落の影響等により、高額品を中心に買い控えがみられており、売上に影響が出始めている」（百貨店）、「建設コストが大幅に上昇しており、新店舗建設がこれまで通りの予算ではとても対応できない状況にある。また、最近新規オープンした店舗では、当初の募集では従業員が集まらず、オープンを遅らせた事例もあり、新規出店に慎重にならざるを得ない」（食品スーパー）

【サービス業】

「当店が提供する食料品のほとんどが輸入品のため、足もとの円安がダイレクトに業況に影響している。また、顧客の節約意識も高まっており、客数が減少しているほか、低価格帯の商品の売上構成が高まっている」（飲食店）、「中東情勢の悪化に伴い軽油価格が高騰している。せっかく暫定税率が廃止されたのに、逆戻りとなり、先行きが不安である」（運送業）

【令和 8 年 1 月～3 月期の三条地域の業況】

（※三条地域の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。）

<https://www.sanjo-cci.or.jp>

当地域の全業種合計の業況 DI は、令和 6 年度第 4 四半期(R7 年 1～3 月)比(以後、前年同期比という)では▲20 (前期差 1 ポイント増)となった。業種別では、建設業が▲34 (前期差 10 ポイント減)、製造業が▲12 (前期差 4 ポイント増)、卸売業が▲28 (前期差 4 ポイント減)、小売業が▲17 (前期差 23 ポイント増)、サービス業が▲16 (前期差 3 ポイント減)となった。前回調査に比べ、製造業、小売業は DI 値が増加、建設業、卸売業、サービス業は DI 値が減少で推移した。

三条地域の業種別概況

【建設業】

建設業では、前年同期比の業況 DI は▲34 (前期差 10 ポイント減)、採算 DI は▲24 (前期差 14 ポイント減)、売上額 DI は▲24 (前期差 10 ポイント減)、従業員 DI は+4(前期差 4 ポイント増)となり、従業員 DI は増加したが、業況 DI、採算 DI 売上額 DI は減少で推移した。

【製造業】

製造業では、前年同期比の業況 DI は▲12 (前期差 4 ポイント増)、採算 DI は▲4 (前期差 1 ポイント増)、売上額 DI は▲14 (前期差 2 ポイント減)、従業員 DI は▲12 (前期差 1 ポイント減)となり、業況 DI、採算 DI は増加したが、売上額 DI、従業員 DI は減少で推移した。

【卸売業】

卸売業では、前年同期比の業況 DI は▲28 (前期差 4 ポイント減)、採算 DI は▲25(前期差 16 ポイント増)、売上額 DI は▲9 (前期差 15 ポイント増)、従業員 DI は+5 (前期差 11 ポイント減)となり、従業員 DI は増加したが、は減少で推移した。

【小売業】

小売業では、前年同期比の業況 DI は▲17 (前期差 23 ポイント増)、採算 DI は±0(前期差 2 ポイント増)、売上額 DI は±0 (前期差 16 ポイント減)、従業員 DI は+16 (前期差 16 ポイント増)となり、業況 DI、採算 DI、売上額 DI は増加したが、従業員 DI は減少で推移した。

【サービス業】

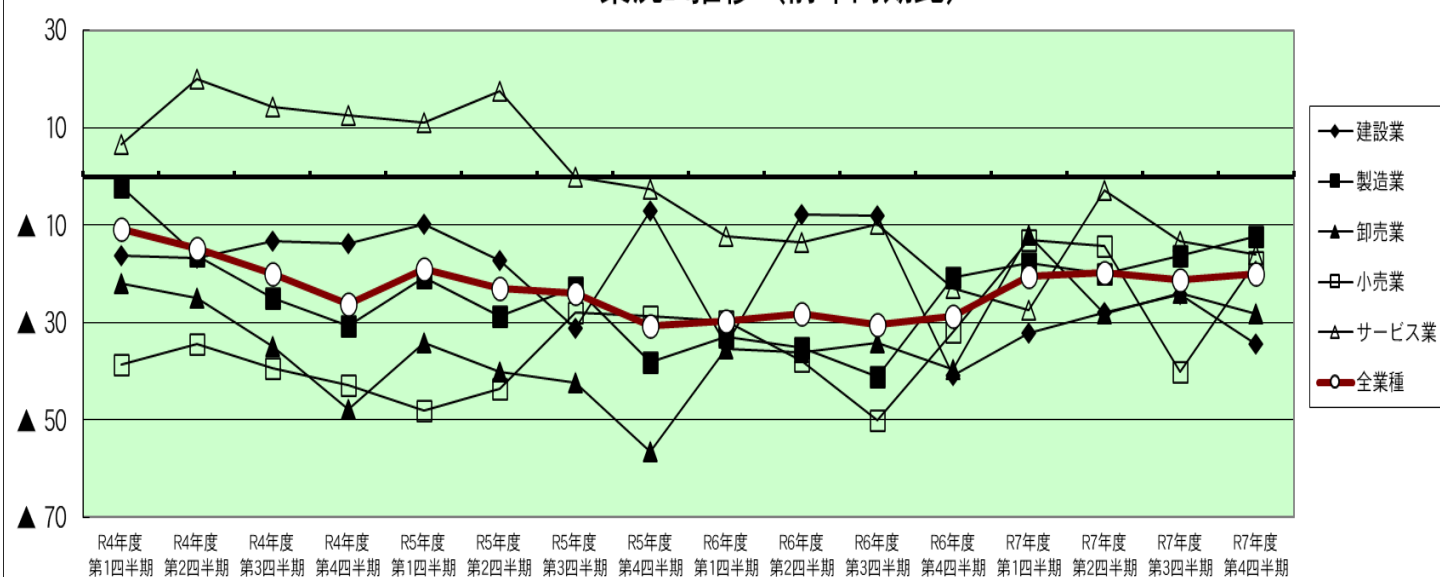
サービス業では、前年同期比の業況 DI は▲16 (前期差 3 ポイント減)、採算 DI は▲20 (前期差 9 ポイント減)、売上額 DI は▲23 (前期差 20 ポイント減)、従業員 DI は▲7 (前期差 1 ポイント増)となり、従業員 DI は増加したが、業況 DI、採算 DI、売上額 DI は減少で推移した。

三条地域の業況 DI(前年同期比)の推移 ※DI 値＝「良いとする回答割合」-「悪いとする回答割合」

	R4 年度				R5 年度			
	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期
全業種	▲ 11	▲ 15	▲ 20	▲ 26	▲ 19	▲ 23	▲ 24	▲ 31
建設業	▲ 16	▲ 17	▲ 13	▲ 14	▲ 10	▲ 17	▲ 31	▲ 7
製造業	▲ 2	▲ 16	▲ 25	▲ 31	▲ 21	▲ 29	▲ 23	▲ 38
卸売業	▲ 22	▲ 25	▲ 35	▲ 48	▲ 34	▲ 40	▲ 42	▲ 57
小売業	▲ 39	▲ 34	▲ 39	▲ 43	▲ 48	▲ 43	▲ 28	▲ 29
サービス業	7	20	14	13	11	18	0	▲ 3

	R6 年度				R7 年度			
	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期
全業種	▲ 30	▲ 28	▲ 30	▲ 29	▲ 21	▲ 20	▲ 21	▲ 20
建設業	▲ 35	▲ 8	▲ 8	▲ 41	▲ 32	▲ 28	▲ 24	▲ 34
製造業	▲ 33	▲ 35	▲ 41	▲ 21	▲ 18	▲ 20	▲ 16	▲ 12
卸売業	▲ 35	▲ 36	▲ 34	▲ 40	▲ 12	▲ 28	▲ 24	▲ 28
小売業	▲ 30	▲ 38	▲ 50	▲ 32	▲ 13	▲ 14	▲ 40	▲ 17
サービス業	▲ 12	▲ 14	▲ 10	▲ 23	▲ 28	▲ 3	▲ 13	▲ 16

業況DI推移（前年同期比）

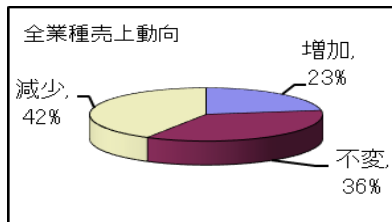


令和7年度 第4四半期(2026年1月～3月)

※四捨五入の関係上百分率の合計が合わないことがあります。

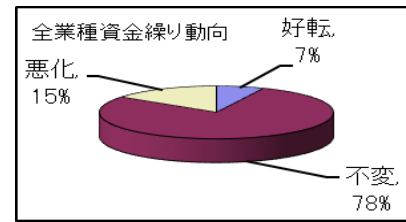
業種別売上動向（前年同期比）

業種		増加	不変	減少
全業種	件数	50	79	92
	%	23%	36%	42%
建設業	件数	5	12	12
	%	17%	41%	41%
製造業	件数	19	32	30
	%	23%	40%	37%
卸売業	件数	10	12	22
	%	23%	27%	50%
小売業	件数	7	7	9
	%	30%	30%	39%
サービス業	件数	9	16	19
	%	20%	36%	43%



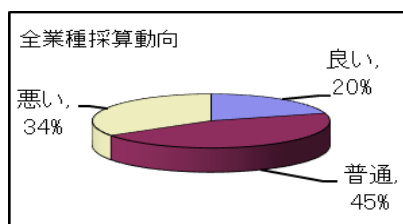
業種別資金繰り動向（前年同期比）

業種		好転	不変	悪化
全業種	件数	14	166	32
	%	7%	78%	15%
建設業	件数	0	27	1
	%	0%	96%	4%
製造業	件数	7	62	11
	%	9%	78%	14%
卸売業	件数	4	30	5
	%	10%	77%	13%
小売業	件数	2	16	5
	%	9%	70%	22%
サービス業	件数	1	31	10
	%	2%	74%	24%



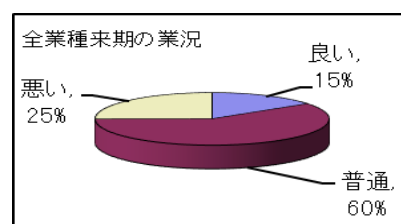
業種別採算動向（前年同期比）

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	45	100	75
	%	20%	45%	34%
建設業	件数	5	12	12
	%	17%	41%	41%
製造業	件数	20	37	23
	%	25%	46%	29%
卸売業	件数	7	19	18
	%	16%	43%	41%
小売業	件数	3	17	3
	%	13%	74%	13%
サービス業	件数	10	15	19
	%	23%	34%	43%



業種別来期(2026.4～6月)の業況(今期比の見通し)

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	29	114	48
	%	15%	60%	25%
建設業	件数	3	13	8
	%	13%	54%	33%
製造業	件数	16	37	15
	%	24%	54%	22%
卸売業	件数	4	30	12
	%	9%	65%	26%
小売業	件数	2	11	2
	%	13%	73%	13%
サービス業	件数	4	23	11
	%	11%	61%	29%



日本商工会議所の全国の業況、三条地域の業況の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。

<https://www.sanjo-cci.or.jp>